

2019年度

環境経営レポート

三洋工業株式会社

期間: 2019年4月～2020年3月

作成日: 2020年 4月15日

認証・登録番号: 0006983

目 次

1.環境経営方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	P・1
2.事業所概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P・2-3
3.環境経営目標とその実績	・・・・・・・・・・・・・・・・	P・4-5
4.拡大実績【浪江営業所】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P・6
5.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	・・・・・・・・	P・7
6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟の有無		P・8
7.代表者による全体の評価と見直しの結果	・・・・・・・・	P・8

1. 環境経営方針

私たちは地球環境の健全性への取り組みが社会的責任と位置づけ、原子力発電所の仕事に携わる一員として、地球温暖化防止に貢献するとともに、環境保全活動を通して地域の皆様から信頼される企業を目指し、継続的改善に努めます。

< 環境保全への行動指針 >

- 1) 電力・燃料の消費にともなう二酸化炭素の排出量の削減
- 2) 一般廃棄物の削減
- 3) 節水に努める
- 4) 環境関連法規の遵守
- 5) 環境経営方針を全社員に周知させ、環境意識の向上
- 6) グリーン商品の購入に努める

作成日 2010年4月1日

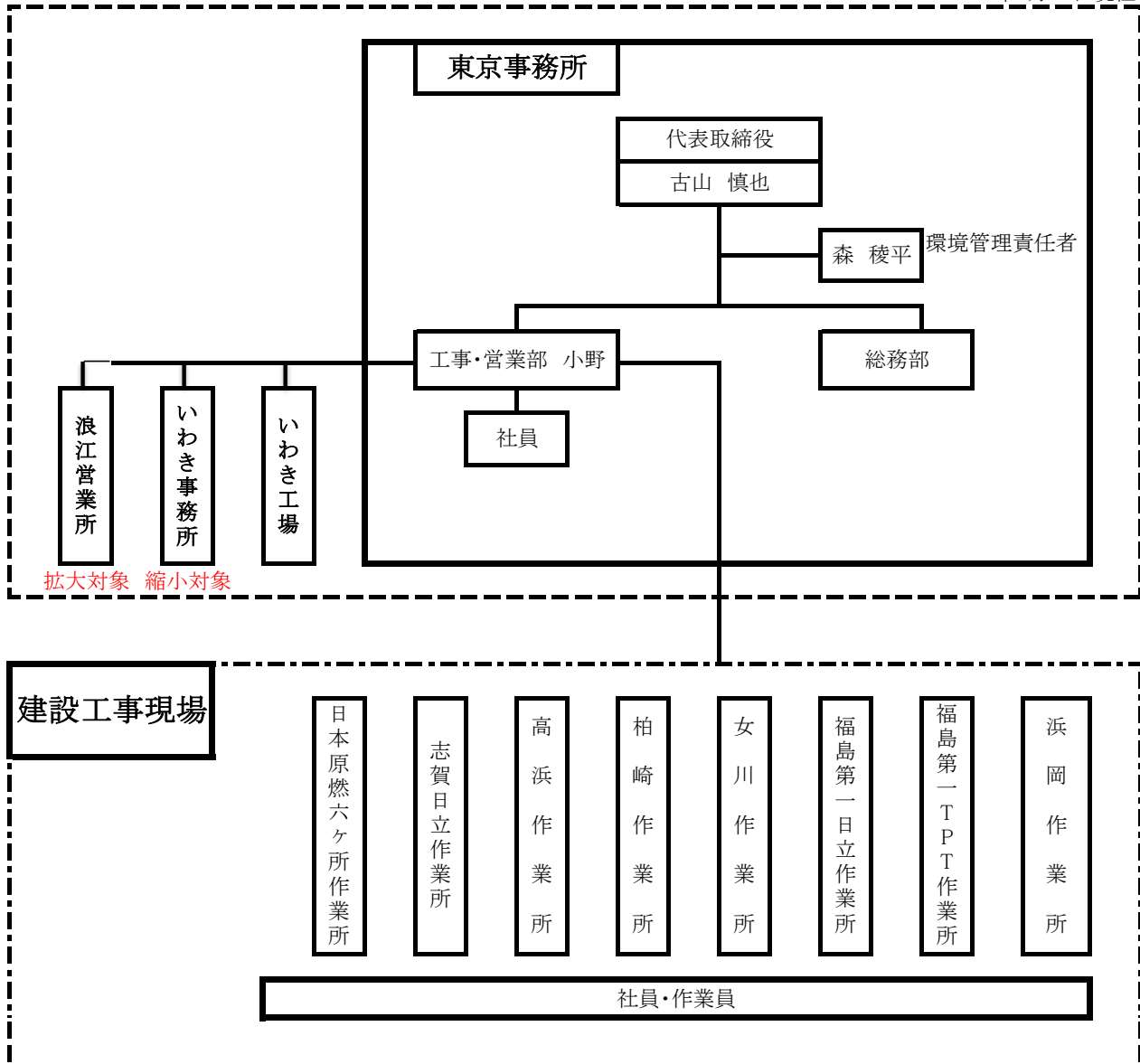
改訂日 2019年10月1日

三洋工業株式会社

代表取締役 **古山 慎也**

2. 事業所概要 (組織の概要とEA21対象範囲)

2020年3月31日現在



(1) 事業所名と所在地及び代表者氏名

- 1) 三洋工業㈱ 本社(登記上の本社)
代表取締役 古山 慎也
福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北台19番地
- 2) 三洋工業㈱東京事務所 (実質本社業務 対象事務所)
東京都千代田区外神田6丁目9番5号
- 3) 三洋工業㈱いわき事務所 (2020年3月 縮小対象事務所)
福島県いわき市平下荒川字川前43-1
- 4) 三洋工業㈱いわき工場
福島県いわき市常盤西郷町落合294
- 4) 三洋工業㈱浪江営業所 (2020年4月 拡大審査対象事務所)
福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字知命寺5番地

(2) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： 森 稜平 TEL: 03-5688-4778
FAX: 03-5688-3445

(3) 事業内容（認証・登録の範囲）

定検工事: 炉心機器点検工事・タービン補機類点検工事 各種ポンプ、タービン類点検工事及び改修工事
建設工事: 機器の据付、配管工事
産業プラント設備の据付工事: 自家用発電用ディーゼル発電設備・ボイラー設備 機械式駐車場設備
環境装置プラント設備の据付工事: 汚泥処理、し尿処理設備・ごみ真空輸送設備
建設業許可:(とび土工・管・電気・機械器具設置業・鋼構造物工事業・解体工事業)

(4) 事業の規模

売上高(2020年3月度)	2,252百万円	(全体)
従業員数(2020年3月)	52名	(全体)
事業所の床面積	81.45㎡	(東京事務所)
現場事務所の床面積	52.49㎡	(いわき事務所)
工場・作業所の床面積	341.02㎡	(いわき工場)
事務所の床面積	52.17㎡	(浪江営業所)

3. 環境経営目標とその実績(その1)

【 東京事務所 】 環境経営目標	2018年度 (基準年度) 実績	2019年度			2020年度	2021年度
		目標値 基準年比	年間実績	目標 増減率	目標値 基準年比	目標値 基準年比
二酸化炭素排出量削減 (電気使用量の削減) (kg-CO2)	4,761 kg-CO2	△0.5% 4,738	4,778	+1%	△0.5%	△0.5%
二酸化炭素排出量削減 (自動車燃料使用量の削減) (kg-CO2)	2,670 kg-CO2	△0.5% 2,657	2,608	△1%	△0.5%	△0.5%
廃棄物排出量削減 (t)	産業廃棄物 0 t 一般廃棄物 0.111 t	-- 0 0.111	0 0.249	-- +224%	現状維持	現状維持
水道水の削減 (m ³)	64 m ³	現状維持 64	62	△3%	現状維持	現状維持
環境関連設備設置工事 受注件数	4 件	現状維持 4	1	△75%	現状維持	現状維持
<p>電気使用量のCO2排出係数は、基準年度(2018年度)の東京電力調整後排出係数0.462kg-CO2/kWh 活動実績と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社の取組みとしては、不要照明の消灯、空調温度管理、節電とクールビズ等を継続した。 人員増によりPC台数が増加し、目標は達成できなかった。 ・車輦における燃料の取組については、公共交通機関の使用に努め、 年間目標を達成することができた。 						

3. 環境経営目標とその実績(その2)

環境経営目標	2018年度 (基準年度) 実績	2019年度			2020年度	2021年度
		目標値 基準年比	年間実績	目標 増減率	目標値 基準年比	目標値 基準年比
いわき事務所	二酸化炭素排出量削減 (電気使用量の削減) (kg-CO2)	1,669 kg-CO2	△2% 1,636	1,506	△8%	
	二酸化炭素排出量削減 (自動車燃料使用量の削減) (kg-CO2)	3,635 kg-CO2	△2% 3,563	4,976	+40%	
	水道水の削減 (m ³)	129 m ³	129	95	△26%	
いわき工場		2018年度				
	二酸化炭素排出量削減 (電気使用量の削減) (kg-CO2)	3,312 kg-CO2	△2% 3,245	4,261	+31%	△2% △2%
	水道水の削減 (m ³)	6 m ³	6	22	+267%	現状維持 現状維持
作業所		2018年度				
	二酸化炭素排出量削減 (自動車燃料使用量の削減) (kg-CO2)	57,086 kg-CO2	△2% 55,945	50,989	△8%	△2% △2%
		(使用全車輛は17台)	(使用全車輛は17台)			
<p>電気使用量のCO2排出係数は、基準年度(2018年度)の東北電力排出係数0.523kg-CO2/kWh 実績と評価</p> <p>【いわき事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力使用量は現場パトロールなどに重点をおいたため、事務所の利用時間が減少したため、目標を達成できた。 ・燃料費は現場パトロールの実施など巡回に注力したため、車輛使用頻度が増加し目標を達成できなかつた。 <p>【いわき工場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度は設備等の稼働時間が長くなり、電気使用量、水道使用量の目標を達成することができなかつた。 <p>【作業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、ガソリンと軽油の使用量を削減できたことで目標を達成することができた。 						

4. 拡大実績(浪江営業所)

環境経営目標		2019年1-3月 基準値	2020年1月-3月		
			目標値 基準値比	実績	目標 増減率
浪 江 営 業 所	二酸化炭素排出量削減 (電気使用量の削減) (kg-CO ₂)	1,161 kg-CO ₂	△2% 1,137	1,293	+13%
	二酸化炭素排出量削減 (自動車燃料使用量の削減) (kg-CO ₂)	606 kg-CO ₂	△2% 593	545	△9%
	水道水の削減 (m ³)	3 m ³	3	3	△0%
<p>電気使用量のCO₂排出係数は、基準年度(2018年度)の東北電力排出係数0.523kg-CO₂/kWh 2020年4月より安定稼働したため、2021年度以降は2020年度実績を基準とする。 2018年4月より計測開始し、2019年1月～3月を基準として採用した。</p>					

4. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

[東京事務所]			
環境経営計画の内容	評価と次年度の取組内容		
	結果	評価	次年度の取組
電気使用量の削減			
① 不要照明の消灯	不要照明消灯の100%実施	○	継続
② エアコン冷房室温25-28℃	設定温度を夏は27℃、冬は25℃	○	継続
③ クールビズ運動	クールビズは11月まで延長	○	継続
④ PC、コピー機省エネ設定	PC等の省エネ設定済み	○	継続
自動車燃料の削減			
① アイドリングストップ	アイドリングストップ実施	○	励行を継続
② 低燃費車の入替(更新時)	更新時の車輻入替の推進	○	継続
廃棄物排出量削減			
① 分別によるリサイクル推進	確実に分別を実施	○	継続
総排水量の削減			
① 節水シールにより呼びかけ	節水シール貼付を実施	○	継続
環境関連設備設置工事	環境関連設備設置工事の受注推進	○	継続
[いわき工場・現場作業所・浪江営業所]			
電気使用量の削減			
① 不要照明の消灯	退社時に照明の消灯の厳守	○	継続
② エアコン冷暖房室温25-28℃	設定温度を夏は27℃、冬は25℃	○	継続
自動車燃料の削減			
① アイドリングストップ	アイドリングストップ実施	○	励行を継続
② 低燃費車の入替(更新時)	車輻入替時、低燃費車を導入	○	継続
廃棄物排出量削減			
① 分別によるリサイクル推進	現場の指定場所に確実に分別	○	継続
総排水量の削減			
① 節水シールにより呼びかけ	全事業所の節水シール貼付を実施	○	継続

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連法規等について、2020年3月27日 遵守評価を実施した結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの指摘は、過去3年間ありませんでした。

6. 代表者による全体の評価と見直しの結果

全社で環境保全活動を推進するために、従業員一人一人の意識の向上をはかった。

電気使用量の削減、自動車燃料の削減の2項目に重点をおいた。

不要照明の消灯実施やエアコンの使用を室温厳守に努め、

アイドリングストップの実施や低燃費車導入の推進を励行した結果、

全事業所でのCO2排出量が2018年度は73,133kg-CO2であったが、

2019年度は69,118kg-CO2となり、削減することができた。

(以上)